団結して共に闘おう

ストライキで安倍の戦争と働き方改革＝労働法制改悪を止めよう

新年明けましておめでとうございます。年末年始繁忙お疲れ様です。

2017年は激動の年になろうとしています。

始まった韓国での革命につづこう！

韓国での労働者民衆の怒りは昨年12月、パククネ大統領の弾劾・職務停止に追い込み、「パククネ逮捕、財閥解体・全経連解体」へと闘いぬかれています。この闘いを実現したのは労働組合のナショナルセンター民主労総（80万）のゼネラルストライキです。11・12労働者大会では、獄中のハンサンギュン民主労総委員長が「世の中を変えるのは大統領でも財閥でも金バッジをつけた政治家でもない。貧しい青年と労働者だ」と訴えました。そして闘いは、大量の非正規労働者を生み出すことでしか生きていけない新自由主義（資本家階級）を倒す革命に発展しています。

【上】韓国・民主労総の労働者大会が開かれたソウル市庁舎前広場は巨万の労働者の隊列で埋めつくされた（11月12日、ソウル100万人集会）（「全経連」は日本の「経団連」と同じ財閥を中心とした経済団体）

「民営化は悪」「競争は悪」が民衆の声に

パククネ政権は昨年、全労働者への雇用・賃金破壊と民営化・総非正規職化のために、公共部門への「成果棒制・成果退出制」（成果主義による賃金制度と首切り制度）を導入しようとしました。これは、日本での民営化・非正規職化やスキル制度などの成果主義とまったく同じ攻撃です。

労働者たちは、「成果を挙げた者が報われるのは当然」という資本家のイデオロギーを打ち破って起ち上がりました。鉄道労組の74日間にわたる無期限ストを先頭にしたゼネストは全社会的に支持され、「民営化は悪」「競争社会は悪」のスローガンがまたたくまに全民衆の声となりました。

【下】100万人のメインステージに

動労千葉が登壇！

日韓労働者の共同行動として実現

この韓国の革命の転換点になった11・12百万人決起の大集会に動労千葉訪韓団220人が参加し、動労千葉・田中委員長が登壇し大きな拍手を受けました。この過程は民主労総ソウル本部の提案で、日韓労働者の共同行動として闘われました。一週間前には、韓国の闘いの先頭に立つ民主労総ソウル本部と韓国鉄道労組の仲間30人が来日して11・6日比谷野外音楽堂の大集会を共に実現したのです。

この画期的な国際連帯が実現したのは、動労千葉・動労水戸が、日本で唯一国鉄・分割民営化攻撃とストライキで闘いぬき、今日もなお外注化阻止と反合理化・運転保安を闘い続けているからです。

新自由主義（資本家階級）が崩壊を開始

米国トランプは、アメリカファーストを掲げて保護主義と戦争に突進しています。さらにロシア・プーチンの戦争政治の前に、安倍外交はすべて破綻し、戦争と労働法制改悪にむかって急速に突き進んでいます。

日本の労働者は韓国での革命に続き、安倍政権打倒へに起ち上がろう。

【裏面に続きます】

国鉄分割・民営化で不当解雇から30年

2・12労働者集会

日時：2月12日（日）午後6時
場所：すみだ産業会館8階サンライズホール
（ＪＲ錦糸町駅前の丸井錦糸町店８階）
呼びかけ：国鉄闘争全国運動

全国労組交流センター
全逓労働者部会
東京都台東区元浅草2-4-10　五宝堂・伊藤ビル5階
Tel 03(3845)7461　Fax 03(3845)7463
URL:http://www.k-center.org　E-mail centergo@nifty.com

2017年
1月1日
発行

（ビラの感想や職場状況、またビラに載せてほしいことなどを、気軽にお寄せください。電話・メールどちらでも結構です。）

17年、スキル制度への反撃に起とう

会社と一体で労働条件を切り捨てるJP労組本部を打ち倒そう！

安倍政権は、改憲・戦争と民営化―労働組合解体を貫くために、「働き方改革」を押し出しています。それは、戦後の労働法制を全面改悪して労働組合を壊滅（かいめつ）しようという大攻撃です。郵政での無期転換制度は、その一環です。

「5年ルール」の前倒しとは何か

郵政資本は、なぜ「5年ルール」の一年半前倒しを進めたのか。それは、職場に充満する非正規労働者の怒りと、郵政非正規ユニオンを先頭とする非正規労働者の反乱への恐怖からです。そして「正社員への道」と称して、安倍の攻撃の本質をごまかすためです。

団結破壊のスキル制度への怒りの集会として勝ちとられた郵政労働者交流集会（昨年 10 月 10 日、東京）

しかし、会社とJP労組本部が結んだ協約内容は、職場の誰もが思っていた「5年経ったら無条件で正社員」ではありません。新設した『契約更新要件制度』は、勤続4年半を超えた後の次期契約更新時に、3要件（左に掲載）をすべて満たしていれば契約更新をおこなうというのです。要するに、スキル評価の3要件のひとつでも欠いていれば契約更新をしない（＝雇止め解雇）ということです。

JP労組が協約化した内容

会社とJP労組は、以下の3要件を全て満たしていれば「5年目からの無期転換が可能」＝ダメな非正規は無条件で雇止め解雇とした。

①当該契約更新時のスキル評価が、B（習熟度なし）以上であること。
②当該契約更新時の評価を含む直近2回の基礎評価のどちらかが、全て「できている」であること。
③直近半年間に懲戒を受けたまたは受ける見込みの者については、その量定や様態を踏まえ、会社が契約更新を認めること。

非正規制度そのものを撤廃しよう

これは、無期転換前にふるいをかけて首を切る仕組みです。この制度によって雇止め・首切りが容易に、合法的手段で可能になるのです。労働組合的に言えば、「首切り要件の協約化」であり、労働者・仲間の選別的首切りを認めることになるのです。労働者が労働者を、「組合」の名において首を切るという、断じて許せない裏切り行為です。

安倍政権は、「非正規という言葉をなくす」と言っています。その実は、これまでの年功賃金と終身雇用という正社員の概念を無くすことが狙いです。郵政的に見ると、新一般職という限定正社員に続き、アソシエイト社員という無期雇用社員をつくり、低賃金と無権利の雇用形態をスタンダードにしようとたくらんでいるのです。政府・財界の考える将来像は、管理者以下、班長までが正社員で、班員はすべて「名ばかり正社員」です。

それとセットで「頑張った者が報われる」と称して年功賃金から成果主義賃金に転換して、労働者同士を競い合わせます。一部の者だけが雀の涙ほどの成果給にあやかり、圧倒的多くは低賃金にすえ置かれるのが現実です。

職場の団結を守るためには、非正規職制度そのものの撤廃を求めて闘うことです。さらに「5年経ったら無条件で正社員にしろ」、「競争をあおり分断をもたらすスキル評価の廃止」を要求しましょう。

職場に闘う労組をよみがえらせよう

今、まさに闘う労働組合が求められています。一人ひとりは弱い、しかし百人・千人・数万人と労働者が団結してスクラムを組めば、おのずと道は開かれます。今年は、ロシア革命から100年です。「万国労働者は団結せよ！」団結は闘いです。韓国のようなゼネストをやることです。

共に起ち上がろう。

大阪に続き「スキル労働委員会」闘争に立ち上がろう

申し立てを行う大阪の労働者

昨年 8 月 30 日、大阪の郵便労働者が会社を相手に、「スキル評価制度は労働者の団結を破壊する不当労働行為だ。郵政会社はスキル評価制度の廃止、10 月 1 日実施予定の無期転換制度を中止すべき」と大阪府労働委員会に申立を行いました。

会社側は「ＪＰ労組との労働協約に基づいて実施」「申立人は適格性に欠く」却下せよと、激甚に対応しています。調査は、この春にも証人尋問が行われます。私たちは 2017 年、大阪に続いて東京・全国でこの闘いを開始します。共に起ち上がろう。

職場の相談を承ります！ ●**郵政非正規ユニオン**（TEL：080-5685-2113） ●**東京東部ユニオン**（葛飾区新小岩2-8-8 クリスタルハイム203号 TEL:03-6410-4329 FAX:03-6410-4369 Eメール:tobuunion@grace.ocn.ne.jp） ●**東京西部ユニオン**（杉並区天沼2-3-7 さかいビル２Ａ号室電話:03-3220-7473 FAX:03-5930-6136 Eメール:seibu-union@mocha.ocn.ne.jp） ●**なんぶユニオン**（品川区大井1-34-5河野ﾋﾞﾙ3F Tel&Fax:03-3778-0717 Eメール:nanbuunion@yahoo.co.jp） ●**東京北部ユニオン**（豊島区西池袋5-13-10 ハイマート西池袋603号 TEL&FAX 03-6914-0487 Eメール:tokyohokubuunion2010@yahoo.co.jp） ●**東京中部ユニオン**（台東区元浅草２－４－10、 ５F気付 電話:070-6981-1441 Eメール:kudansita2005@yahoo.co.jp） ●**多摩連帯ユニオン**（八王子市明神町4-14-5リーベンスハイム2-203 電話&FAX:042-644-9914 Eメール:tamarentai.union@gmail.com） ●**ちば合同労働組合**（千葉市中央区要町2-8 DC会館内 電話:043-225-2207 Eメール:chiba_goudou@yahoo.co.jp） ●**合同労組かながわ**（横浜市南区山王町４-26-３ ストークビル秋山301 電話:045-242-1055 Eメール:c_kanagawa@yahoo.co.jp） ●**湘北合同労組**（相模原市南区相模台２－９-19 電話・Fax：042-766-9254 Eメール:shohoku_godounion@yahoo.co.jp） ●**さいたまユニオン**（電話:080-7016-1891 Eメール:sai_union@yahoo.co.jp） ●**とちのきユニオン**（宇都宮市今泉3-8-5-501 電話:080-2060-0785,FAX:028-624-1306,Eメール:tochi_workers-unite@yahoo.co.jp） ●**山梨合同労組**（電話:0555-84-1108 Eメール:yamanashijoint@aurora.ocn.ne.jp） ●**群馬合同労組**（前橋市笂井町936-３ 電話:090-9016-0272 Eメール:gungoroso@ybb.ne.jp）